

# 院外茶話

vol.117 平成 27 年 2 月 1 日

幸福に暮らせる国  
幸福に暮らせる都市  
魅力のある国  
魅力のある都市

## 幸福度 ランキング



平等院の鳳凰堂。

極楽で暮らしたい。

振り返って見れば人生、いいこともあったけど、煩わしいことの方が多かったような気がする。還暦を過ぎて節々が痛む。眠れない。年金も当てにならないし、身体だっていつまで動くことか。

でも、来世は極楽に違いない。頑張ってきたのだからきっと行ける。その極楽とはどんなところか。それを知るためには、宇治の平等院に行かねばならない。平等院の鳳凰堂とは、極楽浄土の見本を現世に作ったものなのです。

これまで十円玉の裏側でしか見たことがなかったけれど、本物の平等院の前に立てば、逆さ富士のように極楽浄土が池に浮かんで、それは美しい眺めだろう。そう思って、あの世の住処の下見に行ってきた。

しかし、残念ながらその日、平等院は大規模な補修工事の最中で、池の水は抜かれて青いビニールシートと土囊しか見えない。境内には赤い三角帽子がならんで、これをロードコーンと言う。

初めて訪れた平等院の拝観順路は、ロード

コーンで仕切られた無残な姿だった。私は極楽によほど縁がないのか。

本物の極楽とは少し違うけれど西洋にはユートピア、東洋には桃源郷があって、それは理想の世界である。しかし、ユートピアは大陸と隔絶した孤島にあった。桃源郷は二度と見つからないトンネルの向こうで、行こうと思って行けるところではない。

では現実的に、この世の中で最も極楽に近いところはどこか。

法政大学が行った都道府県別、幸福度ランキングという調査があって、ベストスリーを占めたのは石川、福井、富山の北陸三県。最下位は大阪で、大阪人からは大きなブーイングがおきた。



私の生家跡は幸福な福井県にありました。

東京は 37 位、京都は 42 位で、総じて都会の幸福度は低い。最大の理由は、土地の値段が高いから。

その東京の、さらに下位を見れば宮城、秋田、青森、北海道が並んで、極端な寒さは幸福度を下げる。あるいは寒いから病気が増えるとか、交通の便が悪くなるとか、間接的な理由があるのかもしれない。

では、法政大学が幸福度ランキングの評価をした時に使った、指標とはどんなものか。それはとても多様で、出生率や賃金、犯罪や医療など 40 もの項目からなる。

こうして統計上の根拠を見せられると、納得をしないでもないが、この結果が本当に正しいのであれば、大阪の人はなぜ北陸三県に行かないのか。

幸福度が最下位にも関わらず、大阪に多くの人が集まって暮らすのは何故か。それは良くも悪しくも、都会の暮らしには魅力があるからで、幸福に暮らせる場所と、人気がある場所は必ずしも一致しない。

イギリスでも似たような調査結果があつてこの場合、幸福度を評価する基準は健康と富、それに教育であつた。

幸福な国のベストスリーはデンマークにスイス、オーストリア。いずれも雪は降るけれど極寒ではなく、北陸三県と似ているようにも見える。

一方、人気のある国の1位がドイツ、2位はアメリカだけど、幸福度から見ればドイツは35位、アメリカは23位でずいぶん下の方。

東京や大阪の幸福度が下位にランクづけをされた現象とよく似ている。



たまにはこういう街を歩かないと。

幸福度と人気、この違いは何か。人気ある街とは、人々を引き付ける魅力のある街のこと。それは活発で無限の可能性があつて、ちょっと危険で悪い匂いもする。東京や大阪がそれ。

幸福度とは大学や政府の研究機関が客観的に行つた調査であつて、国民の嗜好とは別のもの。それは美しい悪女と、平凡な良妻賢母のような違いかもしれない。

法政大学が用いた調査にけちをつける訳ではないが、人間は草食動物のように、大人しくしておりこんな人ばかりではない。

私だったらこの調査項目に、近くに美味しいお店があるとか、心地よいバーがあるとか、そんな要素も入れてほしい。きれいなお姉さん

の存在も重要な要素で、私の幸福度を大きく上昇させる。

もし、こういう繁華街の要素がマイナスに査定をされると、どうしたって大都会はだめ。幸福度は下がる。

しかし、別の見方をすれば別の結果が出るもので、現にイギリス人が日本一住みやすいと評価をした都市は大阪であつた。

街であれ国であれ、本当に豊かで幸せに暮せるところなど、そうそうありはしない。でも、他人の評価など気にせず、自分が幸福と思える国ならばできる。

ブータンの王様が提唱したのは、幸福と感じながら暮らせる国作りで、客観的な国内総生産(GDP)の代わりに用いたのは、国民総幸福量(GNH)という概念だつた。

それはお釈迦様のようなよい統治を行い、富や健康の他にも、日常の過ごし方や心の幸福感に目を向けた国作りである。

例えば心の幸福感とは。寛容、満足、慈愛などの感情をもって暮らすこと。その反対は怒り、不満、嫉妬。

こうして王様独自の評価基準を設けて、公正な統治を進めて結果が出た。

「あなたは幸せか」という問いに対し、なんとブータン国民の97%が幸せと答えるようになったのである。

この人たちの多くは、恐らく先進国の事情を知らない。それを知ったら、どう答えるかわからないけれど、ほとんどの人が「幸せ」と思つて暮らせる国は羨ましい。

幸せな国。

魅力のある国。

豊かな国。

さて、みなさんは何を優先してどの国の、どんな街に住みたいと思いますか。



ブータンの子供たち。